

JR 総連 OB 連絡会・退職者連合との学習会に参加！

3月1日午前10時より東京・永田町の参議院議員会館地下会議室において、JR 総連 OB 連絡会・退職者連合同による学習会が開催されました。学習会に各



単組 OB 会より39名が結集し、貨物労組 OB 会から7名が参加しました。

学習会は伊藤事務長司会で始まり、大熊会長あいさつでは、たしろかおる応援プロジェクトの取り組みを一つ一つ積み上げていく事が大事であるとありました。

たしろかおる参議院議員からのあいさつでは①経済現状について、②年金積立金・年金給付について、③安保関連法と臨時国会開催の要請で憲法違反があるとありました。

講師である日本退職者連合の阿部保吉会長からは「退職者連合の課題と取り組み」について、①アベノミクスによる安倍内閣の真の狙いは「世界で一番企業活動のやり易い日本」にすることだ。②政府の「骨太方針2015」は、社会保障費を2016年度から3年間で1兆5千億円も抑制するとしている一方で2015年度予算は、防衛費がついに5兆円を突破した③年金について、政府の財政審議会は、デフレ下のマクロ経済スライドの実施を主張しているが、2004年の年金制度改定の経緯から「名目下限」の廃止を許してはならない。

また、年金積立金の株式投資の拡大は撤回すべき。株価の下落により昨年年末7.8兆円、今年7兆から9兆円の損失を出している。安倍首相は国会で「運用で損失すれば年金給付を減額することになる」と答弁したが、株価を引き上げるために積立金を利用し、その責任を取らない姿勢は絶対に許せない。



④集团的自衛権行使に舵を切る安倍政権を許さない、⑤地域運動・組織の拡大を目指そう、という講演がありました。その後、質疑応答があり、有意義な学習会となりました。